

10.1 インチ地デジテレビ

DT-1000S

取扱説明書



- この度は DT-1000S をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。ご使用になる前に必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いくださいますよう、お願い申し上げます。
- お読みになったあとは、お問い合わせに必要な本製品保証書と購入レシートと共に、いつでも見られるところに必ず保管してください。ご購入後の各種お問い合わせに必要になりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

目次

はじめに	2
・使用上のご注意	2
・安全上のご注意	3
製品内容	10
本体の各部名称	11
リモコンの電池装着	13
リモコンの各部名称	14
接続をする	16
・アンテナの接続	16
・miniB-CASカードの挿入	17
・AC/DCアダプターの接続	13
・外部映像機器との接続	18
・イヤホン（ヘッドホン）との接続	19
電源をオンにする	19
基本操作	20
・初めてお使いになるとき	20
・チャンネルを選ぶ	21
・音量を調整する	23
・画面に表示を出す	24
・番組表を出す	24
・番組情報を出す	25
・字幕表示/非表示を切り換える	26
・音声を切り換える	26
・スキャンを行う	27
・視聴番組を録画する	28
設定メニュー画面	29
・メニューの基本操作	29
・録画ファイル(再生/削除をする)	30
・受信方法設定	31
・言語	32
・パスワード変更	33
・デバイス情報	34
・工場初期化	35
トラブルシューティング	36
主な仕様	37
アフターサービス	37

使用上のご注意

- 本製品は日本国内でのみ使用することを前提に設計・製造されています。日本国外では使用しないでください。その場合の保証はいたしかねます。
- 本製品は一般家庭用に設計・製造されており、一般家庭以外(長時間の使用、車両、船舶などへの搭載)で使用をした場合、故障の原因となります。
- 地上デジタル放送のサービスにおけるデータ放送、双方向サービスには対応しておりません。
- 本製品は(社)電波産業会(ARIB)の策定規格に基づいた仕様となります。規格に変更があった場合は、事前の予告なく本製品の仕様を変更することがあります。
- テレビなどの映像は著作権によって保護されています。これらの映像は個人でのみご利用ください。
- 本製品とお持ちの機器を接続して録画する場合、本製品の不具合により録画できなかったなどの保証はいたしかねます。
- 電源をオンにした状態でのB-CASカードの抜き差し、衝撃などによる接触不良によって映像・音声・その他の情報が受信できなかった場合などの保証はいたしかねます。
- デジタル放送の放送局・中継局が別の場所にある地域では、アンテナの向きを変えたり、地上デジタル放送専用アンテナやブースターの準備が必要です。詳しくは本製品をお買い上げいただいた販売店、または弊社サポートセンターまでご相談ください。

- 下記の損害や不利益については、弊社は一切その責任を負いかねます。
 - ・地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、お客様の故意または過失、誤用、その他の特殊な条件下でのご使用により生じた損害。
 - ・本製品の使用または使用不能から生じた付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)。
 - ・本書の記載事項に従わなかったために発生したお客様ご自身や他の人の死亡、重傷、物的損害、危害や財産などの損害。

安全上のご注意

○ご使用前に、あなたの健康と安全を守り、火災や感電などによる事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合におこりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損傷とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。



禁止(してはいけないこと)を表します。

具体的な禁止内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



強制(必ずしなければならないこと)を表します。

具体的な強制内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



警告

異常や故障したとき



ACアダプターを抜く

- 煙が出たり、変なにおいがする場合は、すぐにACアダプターまたは、DCアダプターをコンセントまたはソケットから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 内部に水や異物が入ってしまった場合は、すぐにACアダプターまたは、DCアダプターをコンセントまたは、ソケットから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 本体を落としたり、破損した場合は、すぐにACアダプターまたは、DCアダプターをコンセントまたは、ソケットから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- ACアダプターまたは、DCアダプターが痛んだり、異常に熱くなった場合は、ACアダプターまたは、DCアダプターが冷えたことを確認し、すぐにコンセントまたは、ソケットから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。



設置をされるとき



指示

- ACアダプターは、家庭用AC100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 静電気の発生しやすい場所に設置して使用する場合は十分注意してください。本製品の故障や感電、火災の発生するおそれがあります。静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防ぐ措置をとるか、静電気の発生しやすい場所への設置を避けてください。



禁止

- 以下の場所には置かないでください。火災や感電、ケガの原因となります。
 - ・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 - ・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
 - ・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
 - ・火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
 - ・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
 - ・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
 - ・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
 - ・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
 - ・直射日光のあたるところ



禁止

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所やストーブのそばなどに置くと、火災や感電の原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
- 高温多湿の環境(お風呂場など)や、油煙、ホコリの多い場所に設置しないでください。本製品の故障や感電、火災の発生するおそれがあります。
- 接続する機器の設置場所に注意してください。本製品の上や、用紙排出口の近くに設置しないでください。本製品もしくは機器の破損の原因となるおそれがあります。
- 換気の悪い場所に設置しないでください。熱がこもり、本製品の変形や故障、火災の発生するおそれがあります。
 - ・壁に押し付けないでください。
 - ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所に押し込まないでください。
 - ・テーブルクロスやカーテンなどを掛けたりしないでください。
 - ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
 - ・仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。



指示

- 移動させる場合は、ACアダプターや外部との接続コードを外してください。ACアダプターを抜かずに運ぶと、ACアダプターのコードが傷つき、火災や感電などの原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒してケガの原因となることがあります。



警告

お手入れについて



禁止

- 電源端子にゴミやホコリが付着している場合は、ACアダプターまたは、DCアダプターを抜いて、ゴミやホコリを取ってください。

電源端子の絶縁低下によって、感電の原因となります。



警告

ご使用になるとき



分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や調整、修理はサポートセンターにご依頼ください。



異物挿入禁止

- 通気口などから異物を入れないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、本製品には一切触れないでください。感電の原因となります。



禁止

- ACアダプターのコードやその他接続コードについて
 - ・足などに引っかからないように配置してください。
 - ・傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱をしないでください。
 - ・上に重量物を載せたり、熱器具のそばに配線しないでください。
 - ・引っ張ったり、挟んだりしないでください。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。

これらは火災や感電の原因となる他に、コードを足に引っかけると、ケガや接続機器の故障の原因となります。また、コードの被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。



引っ張り禁止

- ACアダプターまたは、DCアダプターを抜く時は、コードを引っ張って抜かないでください。コードを引っ張って抜くと、コードやACアダプターが傷つき、火災や感電などの原因となります。ACアダプターまたは、DCアダプターを持って抜いてください。



濡れ手禁止

- 濡れた手でACアダプターまたは、DCアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。



アダプター
を抜く

- 長期間ご使用にならない場合は、安全のためACアダプターまたは、DCアダプターをコンセントまたは、ソケットから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。



禁止

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。また、接続している外部機器の音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
- 本製品から異音が出た際は使用を中止してください。聴力に悪い影響を与える恐れや、本製品の故障の原因となる恐れがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて音声を聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- イヤホン・ヘッドホンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- リモコンに使用している電池について
 - ・付属の電池は初期動作確認用ですので、寿命が短いことがあります。
 - ・極性 [(+)と(-)] の方向を間違えて挿入しないでください。
 - ・充電、加熱、分解、ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。
 - ・液漏れの原因となりますので、電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った残量の少ない電池はリモコンに入れたままにしておかないでください。もし液体が皮膚や衣類についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液体に直接触れないで拭き取ってください。
- ご使用になるときACアダプターやケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないでください。火災や感電などの原因になることがあります。
- 液晶モニタに衝撃を与えないでください。ケガの原因になることがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、両手で水平に持ち上げてください。無理な体勢で取り扱うと、落下して本製品が故障するおそれがあるほか、ケガなどの原因となる恐れがあります。



指示

- 他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くに他のテレビやラジオなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。その場合は下記のように対処してください。
 - ・他のテレビやラジオなどの機器からできるだけ離してください。
 - ・他のテレビやラジオなどの機器のアンテナの向きを変えてください。
 - ・コンセントを別々にしてください。

取り扱いに関して

- 引越越しなどで運ぶ場合は、傷つかないように本製品の外装箱などをご使用ください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。長時間で使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 普段使用しない時は、電源を切っておいてください。

お手入れに関して

- 液晶面に汚れがついた場合は市販の液晶用のクリーナーを使用してやさしく拭きとってください。目の粗い布などで強く擦ると液晶面に傷がついたり、故障の原因となります。
- キャビネットやボタンなどの汚れは柔らかい布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(露付き)に関して

- 結露は本製品を傷めます。下記をよくお読みください。
 - 結露は以下の状況などでよく生じます。
 - ・本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動した時。
 - ・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用した時。
 - ・夏季に、冷房のきいた部屋などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用した時。
 - ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用した時。
- ※結露が生じそうな場合は、本製品をご使用にならないでください。
- 結露が生じた状態で本製品を使用すると、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

日本国内専用

- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧等が異なりますので使用することができません。

充電について

※ご使用前には付属ACアダプターで必ず充電してください。

- 本体の電源を入れずに付属のACアダプターを接続し、ご家庭のコンセントより充電してください。

地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、今までのアナログ UHF 放送帯域を使用して、デジタルの特長であるゴーストのない鮮明な画像と、高音質、データ放送などの多チャンネル放送などを実現しています。

地上デジタル放送のイメージ

		1 チャンネル分 = 13 セグメント (区分)													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
地上 デジタル放送	HDTV放送時 (12セグメント)														
	SDTV放送時 (4セグメント)												3チャンネル放送可		
ワンセグ放送															

(1 セグメント)

ワンセグ放送について

「ワンセグ」とは、日本国内の地上デジタルテレビジョン放送規格である ISDB-T (Integrated Services Digital Broadcasting-Terrestrial) を利用した携帯端末向け地上デジタルテレビジョン放送サービスの名称です。ISDB-T は、家庭に置かれているテレビジョン (固定受信機) 以外に、カーナビなどの動体端末や携帯電話や PDA などの携帯端末も受信対象として考慮された技術規格です。

ワンセグ放送と地上デジタル放送の違い

ISDB-T では、帯域幅約 429kHz を 1 単位とし、それを「セグメント」と呼びます。

13 個のセグメントを組み合わせた帯域幅 (約 5.75MHz) を一つのチャンネルに割り当てています。

現在、サービスが始まっている家庭用のデジタルテレビで受信できる地上デジタルテレビジョン放送は、この 13 セグメント中の 12 セグメントを使って番組を配信しています。

ワンセグ放送サービスは、この 1 チャンネル約 6MHz の帯域幅の 13 セグメントの内、1 セグメントを利用して映像・音声・データを放送する地上デジタルテレビジョン放送の一部の放送サービスです。

※ワンセグサービスの詳細および受信可能なエリアにつきましては下記ホームページなどでご確認ください。

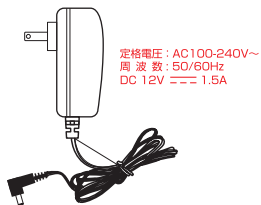
社団法人 デジタル放送推進協会 URL : <http://www.dpa.or.jp>

製品内容

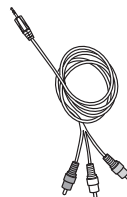
本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。
※イラストと実際の形状は、若干異なる場合があります。



ACアダプター



AVケーブル



専用リモコン



リモコン用お試し電池×2
(単4乾電池)



miniB-CASカード



※台紙から外してご使用ください。
※カードのID番号は大切に保管してください。

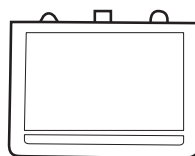
外部アンテナ



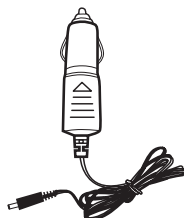
取扱説明書/保証書(本書)



車載用バッグ(ヘッドレスト用)



DCアダプター



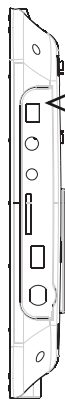
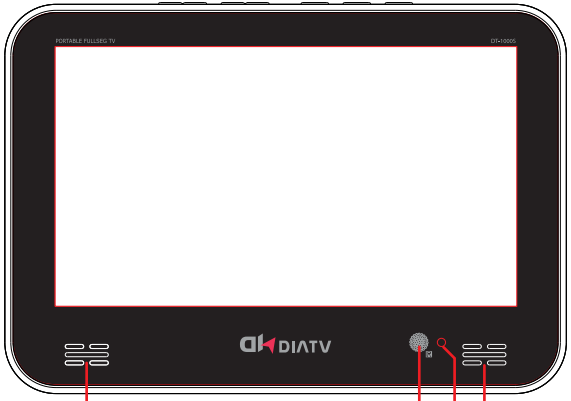
本体の各部名称

各部名称

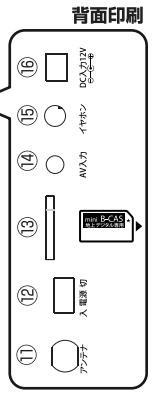
- ①
返場+
- ②
返場-
- ③
音量+
- ④
音量-
- ⑤
画面表示/決定
- ⑥
メニュー
- ⑦
入力切替



左側面



右側面



⑧

本体の各部名称

本体上面

- ①② **選局/項目ボタン(▲/▼)**
放送局の選局と、画面メニューで各項目の選択を行います。
- ③④ **音量/調節ボタン(▲/▼)**
本製品の音量調節と、画面メニューで各項目の設定を行います。
- ⑤ **画面表示/決定**
- ⑥ **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。
- ⑦ **入力切換ボタン**
テレビとAV入力の切り換えを行います。

本体正面

- ⑧ **スピーカー**
本製品の内蔵スピーカーです。
- ⑨ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受信します。リモコン操作はこの位置に向けて行ってください。
- ⑩ **電源ランプ**
本製品の電源状態を確認できます。
電源オン:緑色のランプが点灯
※充電中は赤色のランプが点灯

本体右側面

- ⑪ **アンテナ入力端子**
F型コネクタのアンテナケーブルで地上波デジタルアンテナに接続します。
または、付属の外部アンテナと接続します。
- ⑫ **電源スイッチ** 入/切
- ⑬ **B-CASカード挿入口**
本製品付属のminiB-CASカードをこのスロットに挿入してください。
- ⑭ **AV入力端子**
映像は黄色、音声は白と赤のコネクタとなります。
該当のコネクタのある外部機器に接続します。
- ⑮ **イヤホン端子**
市販品のイヤホン、ヘッドホンを接続してください。
- ⑯ **電源入力端子**
本製品付属のACアダプター、DCアダプターを接続してください。

※本製品にアンテナケーブルは付属しておりません。設置場所までの距離や、アンテナ端子の形状に合わせたアンテナケーブルを別途ご用意ください。

リモコンの電池装着



注意



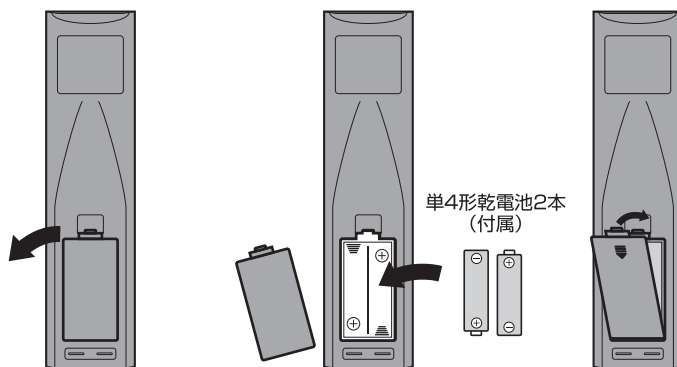
禁止

○リモコンに使用する電池について

- ・極性〔(+)と(-)〕の方向を間違えて挿入しないでください。
 - ・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。
 - ・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎていたり、使い切った残量の少ない電池は、リモコンに入れたままにしておかないでください。液漏れの原因となります。
 - ・新しい電池と古い電池、種類の違う電池を一緒に使わないでください。
- これらを守らないと、液もれや破裂などにより、火傷やケガの原因となることがあります。もし液体が皮膚や衣類についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液体に直接触れないで拭き取ってください。

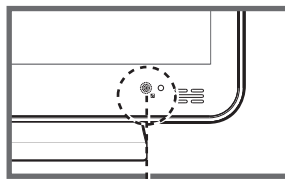
電池の交換について

- ① リモコンの電池カバーを開けます。
- ② 単4乾電池2本をセットします。(電池の+/-の極性をご確認ください。)
- ③ 電池カバーを戻します。



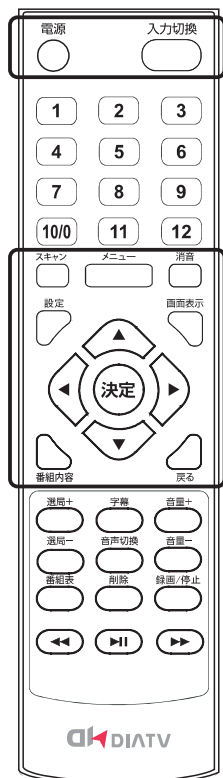
リモコン使用方法

- リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて、ボタンを押します。
- ※リモコンの反応が悪い場合は、本製品に近づけて操作してください。



リモコン受光部

リモコンの各部名称



■電源ボタン

本体の主電源が入った状態で押すと電源が入ります。電源が入っている状態で押すとスタンバイ状態に戻ります。

※リモコンで本体の主電源を切ることはできません。

■入力切換ボタン

入力切換ボタンを押すと、TVとAV入力を切り換えられます。

■スキャンボタン

チャンネルを自動で検索します。

■メニューボタン

画面調整を行います。

■消音ボタン

一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すとまた音が出るようになります。

■設定ボタン

各種設定を行います。

■画面表示ボタン

現在の受信チャンネルと状態を表示します。

■▽△◀▶ボタン

設定画面や番組表、その他選択画面の操作を行います。

■決定ボタン

設定画面や番組表、その他選択画面の項目を決定します。

■番組内容ボタン

視聴できるチャンネルを表示します。

■戻るボタン

設定画面や番組表、その他選択画面から一つ前の画面に戻ります。

リモコンの各部名称

■数字ボタン

チャンネル選択や暗証番号※の入力を行います。

※暗証番号は設定メニュー内の「工場初期化」で本製品を工場出荷状態に戻す際に使用します。

暗証番号は「111111」になります。

■選局ボタン(+/-)

前のチャンネル、次のチャンネルを選局します。

■字幕ボタン

視聴中の番組が字幕放送の場合、字幕を表示します。

再び字幕ボタンを押すと設定が解除されます。

■音声切換ボタン

視聴している番組で主音声・副音声等の切り換えを行います。

副音声に対応していない番組の場合は、すてれおまたはモノラル放送が表示されます。

■音量ボタン(+/-)

音量の調整を行います。

■番組表ボタン

現在放送している時間帯以降の番組を表示します。

番組一覧を表示している際にもう一度ボタンを押すと、カーソルが示す番組詳細が表示されます。

■削除ボタン

録画したファイルの削除ができます。

■録画/停止ボタン

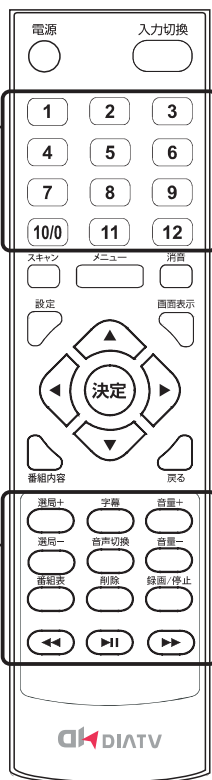
現在視聴中の番組の録画/停止を行います。

■▶▶

録画したファイルの再生/一時停止を行います。

■◀◀▶▶

録画したファイルの再生時、巻戻し/早送りを行います。



接続をする

接続の際は必ず本体の電源をオフにしてください

○図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。

アンテナの接続

●接続する前に、本製品および外部映像機器の電源をオフにして、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

本製品は、地上波デジタル放送を視聴する方法が2種類あります。状況などに応じて適した方法で接続し、地上波デジタル放送を視聴してください。

■ ご家庭の地上波デジタル放送対応アンテナで視聴する場合

ご家庭の地上波デジタル放送対応のアンテナと「本体のアンテナ入力」を「アンテナケーブル」(市販品)で接続してください。

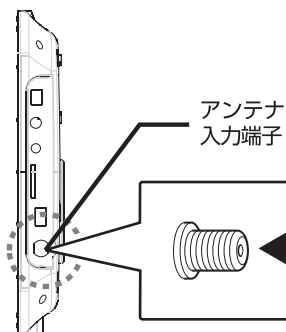
この場合、より安定した状態で地上波デジタル放送を視聴することができます。

■ 付属の外部アンテナで視聴する場合

本製品付属の外部アンテナを本体の「アンテナ入力端子」に接続してください。

※可能な限りご家庭に備え付けのTVアンテナをご使用ください。電波の強い地域や場所でないとは正常に表示が行えません。

本体右側面



屋内アンテナと接続する場合

地上波デジタル対応 室外アンテナ

アンテナケーブル(市販品)

※設置場所までの距離や、アンテナ端子の形状に合わせたアンテナケーブルを別途ご用意ください。

壁のアンテナ端子

外部アンテナと接続する場合

外部アンテナ(付属品)

※電波の弱い地域、設置場所によっては正常に受信が行えません。

注意

※ご家庭のアンテナがUHF受信に対応しているかご確認ください。VHF受信のみの場合、地上波デジタル放送を受信できません。

※付属の外部アンテナの土台は磁石になっています。フロッピーディスクや磁気カードなどの磁気の記憶媒体には近づけないでください。データが消えてしまったり、破損する恐れがあります。

※放送局からの遠く離れている地域や高層ビル、山の影、地下など、電波の弱い地域では映像が乱れたり、映らなかったり、音が出ないなどの異常が発生する場合があります。この場合はお近くのアンテナ工事業者にご相談ください。

接続をする 接続の際は必ず本体の電源をオフにしてください

○図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。

miniB-CAS カードの挿入

「miniB-CASカード」を右下図のように、正しい向きで「B-CASカード挿入口」にしっかりと差し込みます。

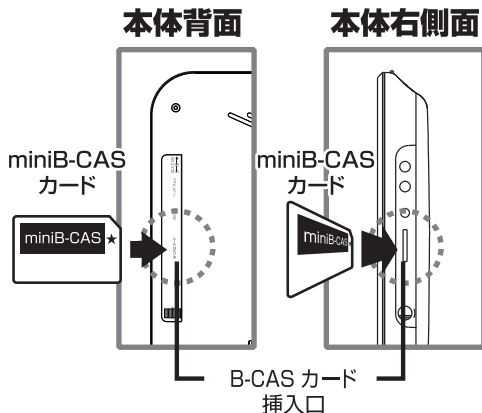
※「miniB-CASカード」を挿入する際はカードの向きに気をつけてください。本体に「miniB-CASカード」が入っていかかったり、間違った入れ方をするとエラーメッセージが表示されます。

※地上デジタル放送は著作権保護のため「miniB-CASカード」をセットしていないとスクランブルがかかり番組を視聴することができません。地上デジタル放送をご覧になる場合は必ず「miniB-CASカード」をセットしてください。

※同封の「仕様承諾約款」の内容を読み、承諾された上で台紙からminiB-CASカードを取り外してください。

●B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容やminiB-CASカードに関する質問など不明な点がある場合は、B-CASカスタマーセンター(TEL: 0570-000-250)へお問合せください。

※B-CASは(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略です。



地上デジタル放送を受信できないときは・・・

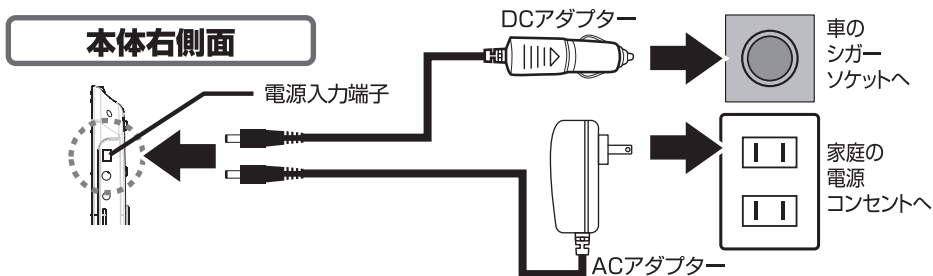
地上デジタル放送を受信できないときは、次のことをご確認ください。

1. 地上デジタル放送の受信エリア内であること
2. 地上デジタル放送を受信できる適切なアンテナがあること
3. miniB-CASカードが正しく挿入されていること

使用される場所が受信可能かどうかで不明な場合は、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(TEL: 03-4334-1111)までお問合せください。

AC/DCアダプターの接続

「AC/DCアダプター」を本体の電源入力端子に差し込み、下図のように接続してください。



接続をする

接続の際は必ず本体の電源をオフにしてください

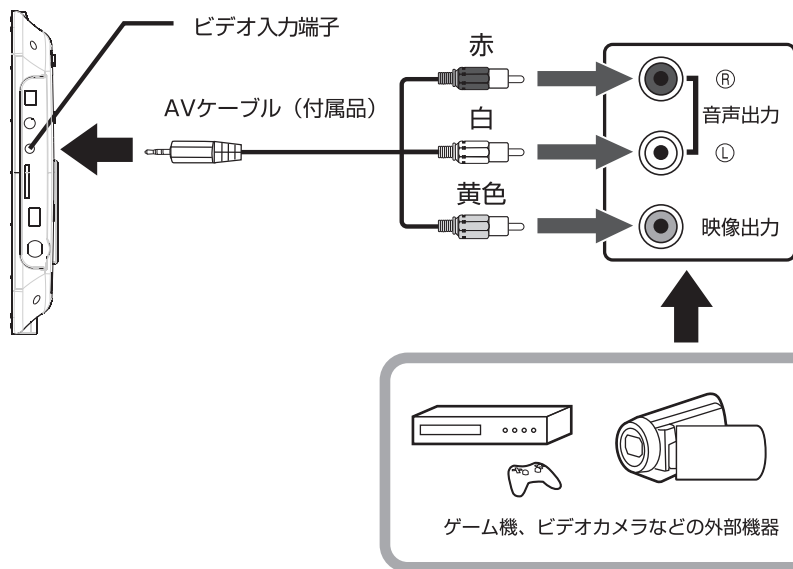
○図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。

外部映像機器との接続

- 本製品は、ゲーム機やビデオカメラ、DVDレコーダーなどの外部の映像機器と接続して、本製品の画面にそれらの映像を表示することができます。
 - 接続する前に、本製品および外部映像機器の電源をオフにして、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。
- ①本体と外部機器を付属のAVケーブルで接続します。
 - ②本体と接続機器の電源をオンにします。
 - ③本体またはリモコンの『入力切換ボタン』を押して、『AV』モードにします。

本体右側面

外部映像機器



注意

- ※本製品と外部機器は直接接続してください。DVD/BDレコーダー、セレクターなど、他の機器を通してご覧になると、コピー防止の働きなどにより正常な画像にならないことがあります。
- ※接続機器によっては画面上の表示位置がずれてしまう場合がございます。予めご了承ください。
- ※音声入力がモノラルの場合は、白のケーブルを接続してください。
- ※詳しくは、映像機器の取扱説明書をご確認ください。

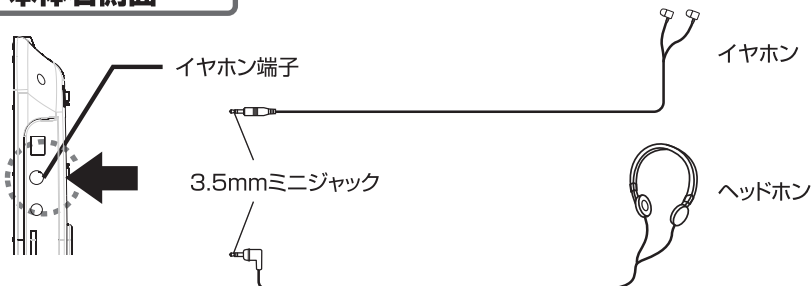
接続をする

○図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。

イヤホン(ヘッドホン)との接続

●本製品の音声を、イヤホンまたはヘッドホン(市販品)から出力することができます。
※接続する際は、事前に本製品の音量を十分に下げ、接続後に適した音量に調節してください。

本体右側面

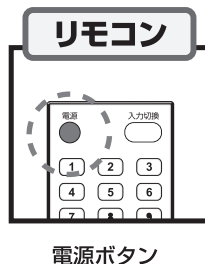


電源をオンにする

○本製品の接続が完了したら、電源をオンにしてください。

先に本体側面の電源スイッチを「入」にしてからリモコン操作を行ってください。

- ① 電源をオフにする場合も、本体もしくはリモコンの電源ボタンを押します。電源ランプが赤色に点灯します。
※4~5秒で画面が表示されます。



基本操作

初めてお使いになるとき

- ① 本体の電源スイッチを「入」にします。
※4~5秒で画面が表示されます。



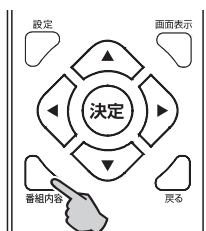
- ② 自動でチャンネルをスキャンします。
※「戻る」ボタンでスキャンを中止できます。
※ スキャンに時間がかかる場合があります。



- ③ スキャンが終わるとテレビ画面が表示されます。



- ④ 「番組内容」ボタンを押して、スキャンされたチャンネルを確認することができます。



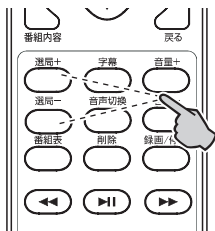
※ チャンネルリストを消すには、「戻る」ボタンを押してください。

基本操作

チャンネルを選ぶ

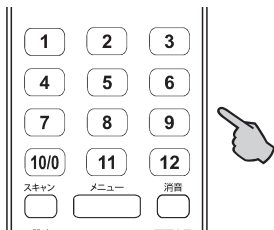
選局 + / - ボタンを使う場合

- ① 本体または、リモコンの選局 + / - ボタンを押してチャンネルを選びます。



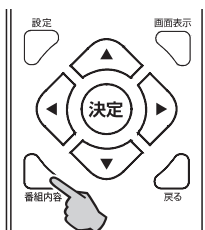
数字ボタンを使う場合

- ① 数字ボタンを押してチャンネルを選びます。



番組内容ボタンを使う場合

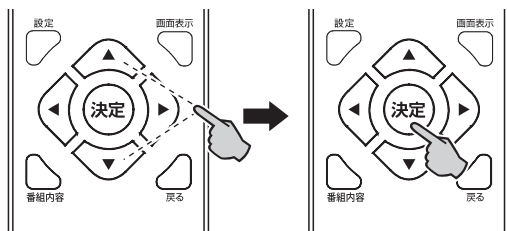
- ① 「番組内容」ボタンを押して、スキャンされたチャンネルリストを表示します。



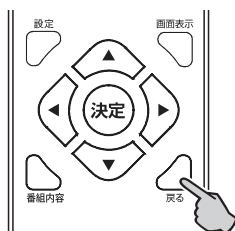
※ チャンネルリストを消すには、「戻る」ボタンを押してください。

基本操作

- ② ▲/▼ボタンを押して見たいチャンネルを選んでから、「決定」ボタンを押します。



- ③ 「戻る」ボタンを押して全体画面を表示します。

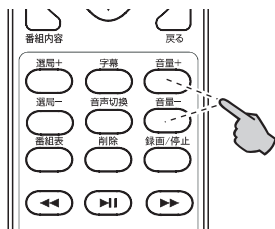


- チャンネルの切り換わりに時間がかかる場合があります。

基本操作

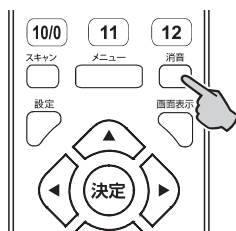
音量を調整する

- ① 本体または、リモコンの音量+/-ボタンを押して音量を調整します。



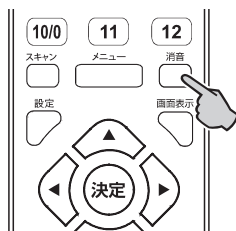
※ ボタンを押し続けると連続して音量を調整することができます。(25段階)

- ② 音声を一時的に消すには、「消音」ボタンを押します。



※ 画面の右上に「ミュート」と表示されます。

- ② 消音を解除するには、再び「消音」ボタンを押します。



基本操作

画面に表示を出す

画面に視聴中のチャンネルやテレビの設定を表示させることができます。

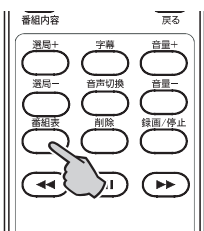
- ① 「画面表示」ボタンを押すと、画面に表示が出ます。



- ② 画面表示をすぐに消すには、「戻る」ボタンを押します。

番組表を出す

- ① 「番組表」ボタンを押して、視聴中のチャンネルの番組表を表示します。

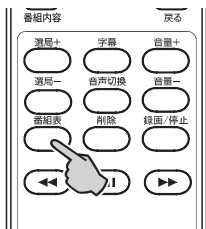


※ 番組表を消すには、「戻る」ボタンを押してください。

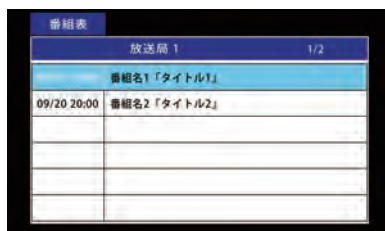
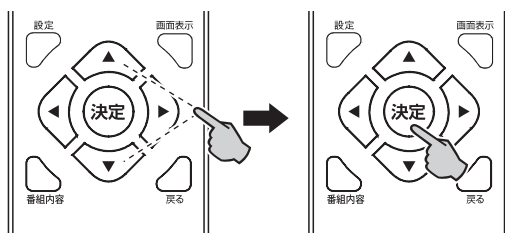
基本操作

番組情報を出す

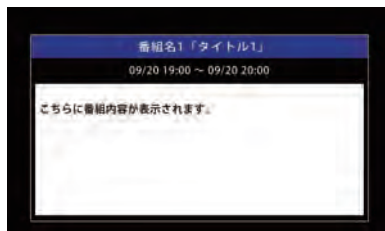
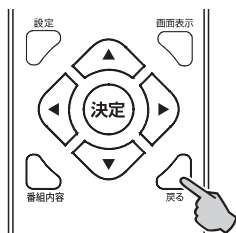
- ① 「番組表」ボタンを押して、視聴中のチャンネルの番組表を表示します。



- ② ▲/▼ボタンを押して見たい番組を選んでから、「決定」ボタンを押します。番組内容が表示されます。



- ③ 番組内容を消すには、「戻る」ボタンを押します。



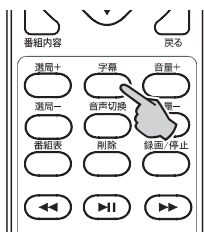
※ 「戻る」ボタンを押すと、一回に一段階ずつ戻ります。

基本操作

字幕表示／非表示を切り換える

字幕放送をしている場合、字幕の表示/非表示を切り換えることができます。

- ① 「字幕」ボタンを押します。



- ※押すごとに字幕の表示/非表示を切り換えます。
- ※表示の場合は画面右上の字幕文字が赤く光ります。

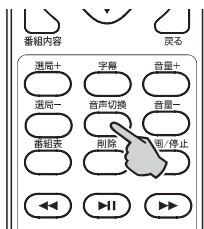


- 視聴中の番組により、字幕のアイコン表示が出て字幕をオンにしても、字幕が表示されないことがあります。
- 「字幕」ボタンを押すと画面表示が出ますが、5 秒後に表示は消えます。

音声を切り換える

視聴中の番組に複数の音声がある場合、音声を切り換えることができます。

- ① 「音声切換」ボタンを押します。



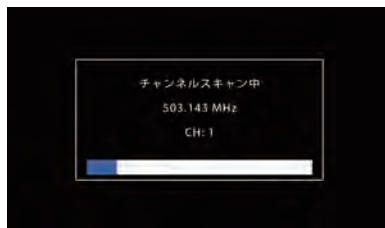
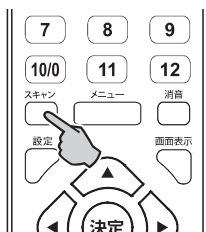
- 「音声切換」ボタンを押すと画面表示が出ますが、5 秒後に表示は消えます。

基本操作

スキャンを行う

現在受信可能なチャンネルを調べます。

- ① 「スキャン」ボタンを押します。



- ※スキャンが始まります。
- ※スキャンは自動で終了し、テレビ画面が表示されます。
- ※「戻る」ボタン押すと、スキャンが中止します。



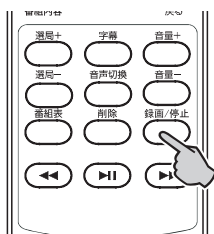
- 移動中は、エリアが変わることで移らなくなる場合がありますので、「スキャン」ボタンで再スキャンをしてください。

基本操作

視聴番組を録画する

視聴中の番組を録画することができます。

- ① 「録画/停止」ボタンを押すと、録画が開始します。



- ② 録画を中止するためには、再び「録画/停止」ボタンを押します。



- ③ 録画したファイルは「設定メニュー」>「録画ファイル」から再生することができます。
※詳しくは(P. 30)をご参照ください。



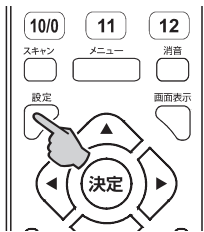
- 内蔵メモリーの容量が不足な場合には、「サービスなし」というメッセージが表示されます。
- 「サービスなし」のメッセージが出る場合には、録画したファイルを削除してメモリーを確保してください。削除方法は(P. 31)をご参照ください。

設定メニュー画面

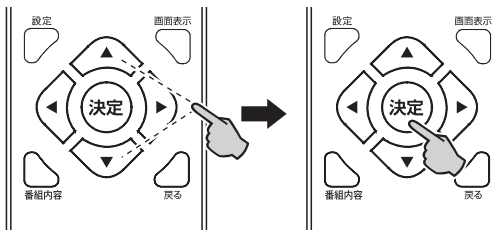
メニューの基本操作

設定メニュー画面を見ながら本体の設定等の情報を操作することができます。

- ① 「設定」ボタンを押すと、設定メニュー画面が表示されます。



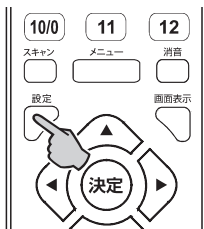
- ② 方向ボタン(▲▼)を押して希望の項目を選んでから、「決定」ボタンを押します。



※設定種別に応じた設定項目が表示されます。

- ③ 項目が表示されたら、方向ボタン(▲▼)を押して設定をするか、情報を確認して「決定」ボタンを押します。

- ④ 設定メニューを消すには「戻る」ボタンを押してください。



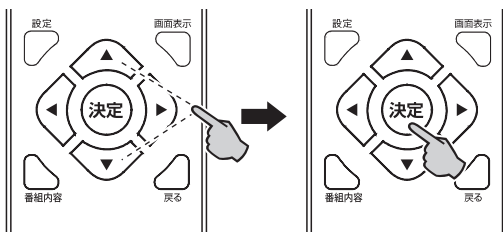
※「戻る」ボタンを押すと、一回に一段階ずつ戻ります。

設定メニュー画面

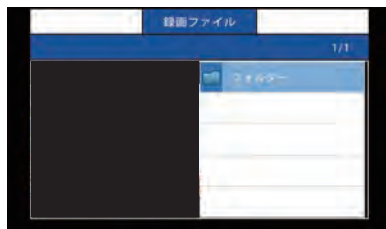
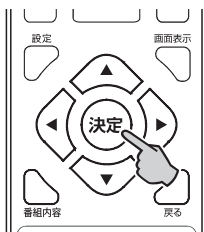
録画ファイル（再生／削除する）

録画したファイルは「設定メニュー」の「録画ファイル」で再生することができます。

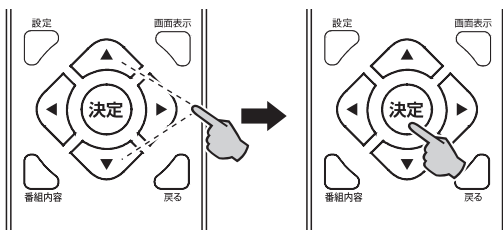
- ① 「設定」ボタンを押し、方向ボタン(▲▼)で「録画ファイル」を選択し、「決定」ボタンを押します。



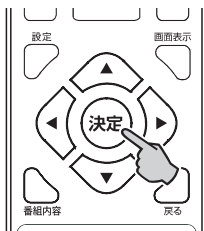
- ② 「フォルダー」を選択し、「決定」ボタンを押します。



- ③ 方向ボタン(▲▼)で再生したいファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと再生が開始します。



- ④ 全画面表示をするには、再び「決定」ボタンを押してください。

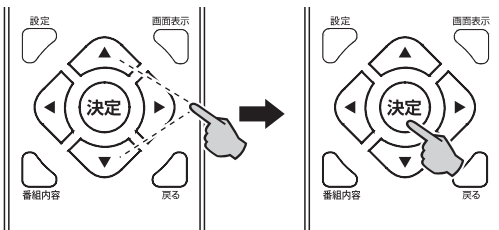


設定メニュー画面

- ⑤ 録画ファイルを削除するには、方向ボタン(▲▼)で削除したいファイルを選んでから「削除」ボタンを押します。

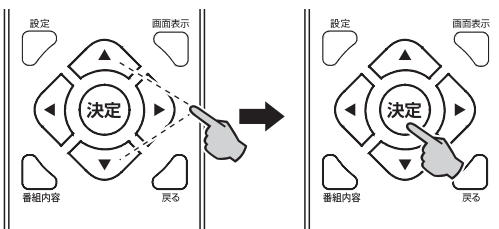


- ⑥ 方向ボタン(◀▶▲▼)で選択し、「決定」ボタンを押します。

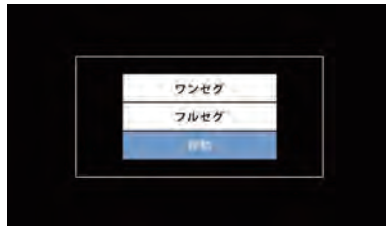
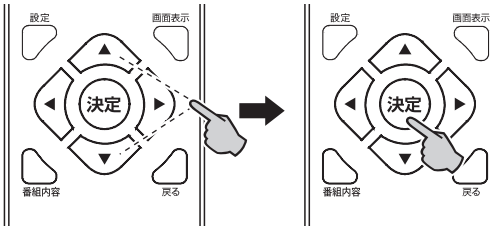


受信方法設定

- ① 「設定」ボタン押し、方向ボタン(▲▼)で「受信方法設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。



- ② 方向ボタン(▲▼)で項目を選択し、「決定」ボタンを押します。



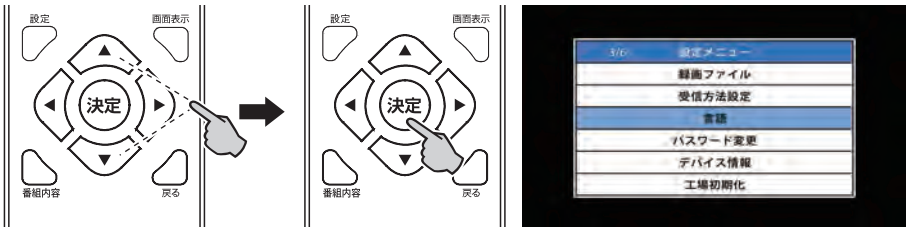
※何も選択しないで「戻る」ボタンで設定メニューに戻ることもできます。

※「ワンセグ」はワンセグのみ受信、「フルセグ」はフルセグのみ受信、「自動」は電波状況によって自動でワンセグとフルセグの自動切り換えができます。

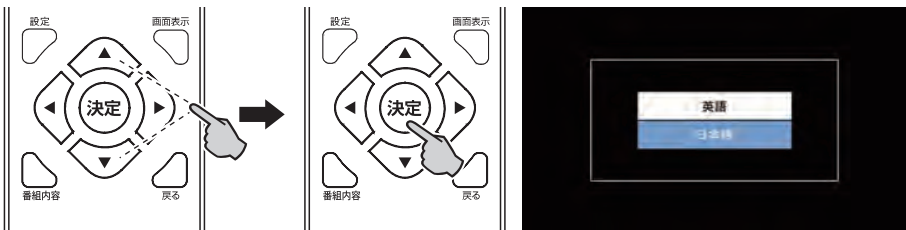
設定メニュー画面

言語

- ① 「設定」ボタンを押し、方向ボタン(▲▼)で「言語」を選択し、「決定」ボタンを押します。



- ② 方向ボタン(▲▼)で項目を選択し、「決定」ボタンを押します。



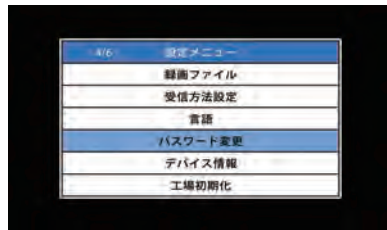
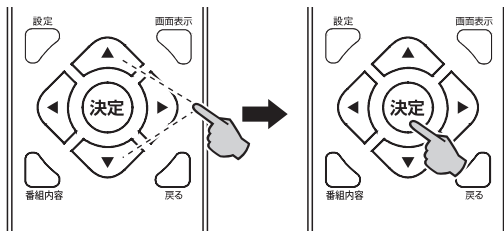
※何も選択しないで「戻る」ボタンで設定メニューに戻ることもできます。

※「日本語」が基本設定となっています。

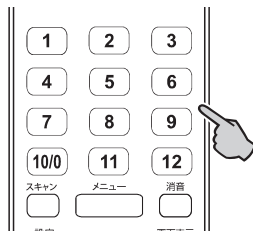
設定メニュー画面

パスワード変更

- ① 「設定」ボタンを押し、方向ボタン(▲▼)で「パスワード変更」を選択し、『決定』ボタンを押します。

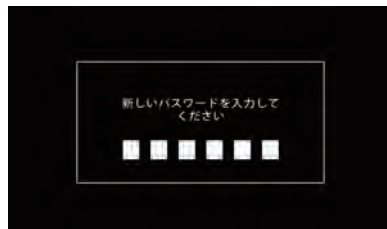
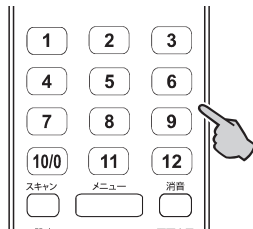


- ② 数字ボタンで6桁のパスワードを入力します。



※初期設定されているパスワードは"111111"です。

- ③ 数字ボタンで変更したい6桁のパスワードを入力します。



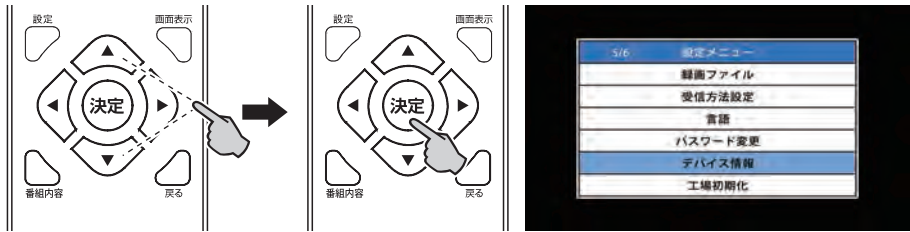
メモ

- パスワードを変更する場合には、変更したパスワードを忘れないように必ず記録を残してください。

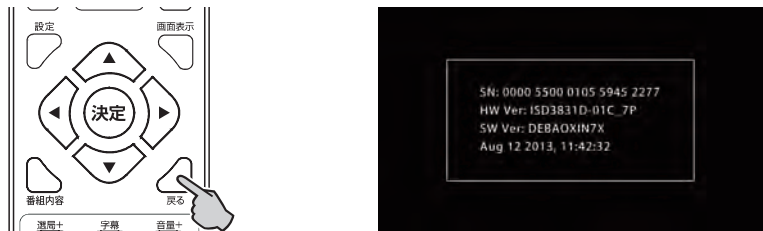
設定メニュー画面

デバイス情報

- ① 「設定」ボタンを押し、方向ボタン(▲▼)で「デバイス情報」を選択し、『決定』ボタンを押します。



- ② デバイス情報が確認できます。『戻る』ボタンか『決定』ボタンで設定メニュー画面に戻ることができます。

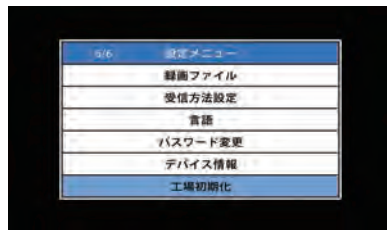
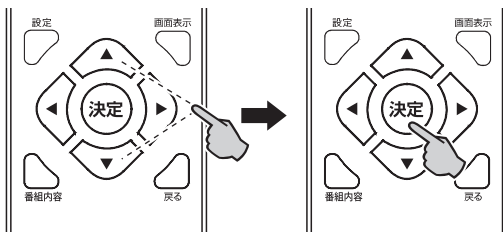


設定メニュー画面

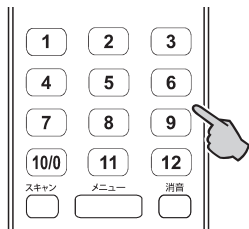
工場初期化

本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

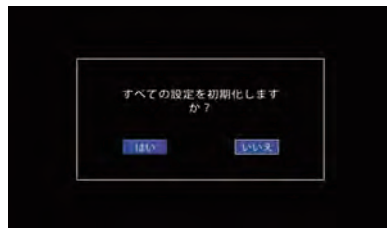
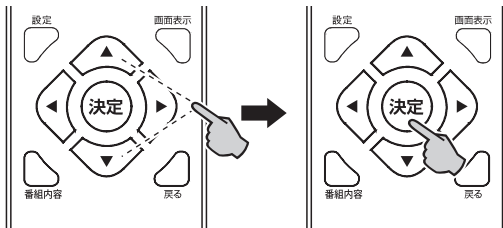
- ① 「設定」ボタンを押し、方向ボタン(▲▼)で「工場初期化」を選択し、「決定」ボタンを押します。



- ② 数字ボタンで6桁のパスワードを入力します。



- ③ 方向ボタン(◀▶▲▼)で選択し、「決定」ボタンを押します。



※「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。



- 工場初期化をするとスキャンされたチャンネルや設定した内容がすべて消去されます。

トラブルシューティング

- 修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。
それでもなお以上があるときは使用を中止して、
エンブレイス・サポートセンター(電話:0570-005-051)までご連絡ください。

こんなとき	ここをお確かめください
○ 映像も、音声も出ない	<ul style="list-style-type: none">・ ACアダプターは正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。・ 電源が切れていませんか？ 本体またはリモコンの電源ボタンを押してください。
○ ワンセグしか受信できない	<ul style="list-style-type: none">・ mini B-CASカードは入っていますか？ または、正しく挿入されていますか？ mini B-CASカードが正しく挿入されていないと地デジは受信できません。この場合は mini B-CASカードを正しく挿入してください。
○ ワンセグとフルセグが勝手に切り換わる	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品の機能として、フルセグ(地デジ)が優先されます。また、電波の弱いところでは自動でワンセグに切り換わります。不具合ではありません。
○ 音声がでない	<ul style="list-style-type: none">・ 音量調整が最小になっていませんか？ 音量調整をしてください。・ 消音になっていませんか？ 消音設定を解除してください。・ イヤホン、ヘッドホンが接続されたままになっていませんか？ イヤホン、ヘッドホンを取り外してください。
○ リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none">・ リモコンは正しく本体の受光部に向いていますか？ リモコンを正しく本体の受光部に向けてください。・ リモコンに電池は入ってますか？ リモコンに電池を入れてください。・ リモコンの電池が消耗していませんか？ または、極性が間違っていますか？ リモコン電池を交換してください。または極性を正しく入れてください。・ リモコンと受光部の間に障害物はありませんか？ 障害物などのない状態で 1.5m以内で操作してください。・ 妨害電波などで操作ができなくなる場合があります。 一度、本体の電源を切り、再度、本体の電源をオンしてください。

主な仕様

電源	ACアダプター: AC 100 V 50/60 Hz 電源出力: DC12 V 1.5 A(専用ACアダプター使用)	
消費電力	通常10 W/待機時 1 W/最大 18 W	
年間消費電力量	約 23 kWh/年	
外形寸法	約 (W) 274 × (H) 190 × (D) 28 mm	
重量	約 0.7 kg	
液晶パネル (LCD)	受信機型サイズ	10.1 V
	駆動方法	LEDバックライト
	画素数	1024 × 600 pixel
	アスペクト比	16:9
	表示色	約 26万色
	応答速度	8 ms
	視野角	左右45°/上15°/下35°
	輝度	220 cd/m ²
	コントラスト比	500:1
番組表	7日分	
受信チャンネル	UHF(13~62)	
テレビ信号方式	NTSC	
画面表示言語	日本語/英語	
スピーカー	2 × 2 W	
入出力端子	AV入力端子(付属のAVケーブル使用) × 1、	
	アンテナ入力端子 × 1、イヤホン出力端子 × 1	
材質	キャビネット: ABS樹脂	

※すべてのデータは当社測定条件によります。記載内容を予告なしに変更することがあります。

□取り付けについて

- ご家庭に備え付けのTVアンテナに接続を行う場合、別途アンテナケーブルが必要となります。
設置場所までの距離や、アンテナ端子の形状に合わせたアンテナケーブルを別途ご用意ください。
- TVアンテナは可能な限り、ご家庭に備え付けのTVアンテナをご使用ください。付属の外部アンテナは電波の強い地域や場所でないとは正常に表示が行えません。

□液晶画面について

- 以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。
- 一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。
- 明るさにむらが生じる場合があります。
- 太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。
- 視野角の範囲内でも角度により若干表示に違いを感じる場合があります。

□年間消費電力量測定法

一般家庭での1日の平均視聴時間を4.5時間として算出した、1年間に使用する電力量です。

アフターサービス

保証書について

- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
- 保証書には保証規定が記載されておりますので、よくお読みください。

修理をご依頼の際は

- お問い合わせいただく前に、本取扱説明書の「トラブルシューティング」のページをよくお読みください。
- 取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

「エンブレイス・サポートセンター」

0570-005-051 平日 午前10時から 午後5時まで
(土日祝祭日、年末年始を除きます)

休日前後は電話がつながりにくい場合がございます。

その際は時間をおいてからおかけ直しいたきますようお願い致します。

アフターサービスのためにサポートセンターに商品をお送りいただく場合の送料は、保証期間内外を問わず、お客様のご負担となります。

輸入・販売元:株式会社エンブレイス

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定をさせていただきます。

株式会社 エンプレイス